

別紙

# 農林水産商工常任委員会資料

(平成23年1月21日)

項目

1 Jリーグクラブに必要な施設整備等について

【経済通商総室（企画調査室）】…1

商工労働部

# Jリーグクラブに必要な施設整備等について

平成 23 年 1 月 21 日

経済通商総室企画調査室

## ● J 2 昇格に伴い、今後、予想される必要な施設整備について

昨年 10 月 28 日開催の Jリーグチェアマンヒアリング等において、Jリーグよりスタジアム、練習場、クラブハウスの整備について要請されたところである。

この要請は、現在、Jリーグで策定作業を進めている Jリーグに所属するクラブが準拠すべき施設基準（Jリーグクラブライセンス）に基づくものである。

なお、Jリーグクラブライセンスの基準を満たさないクラブの扱いについては不明である。

### 1. 策定作業スケジュール

- ・平成 23 年 4 月 Jリーグクラブライセンス制度草案作成  
(クラブライセンス制度決定→クラブ審査)
- ・平成 25 年シーズン Jリーグクラブライセンス制度適用

### 2. 施設基準案のポイント

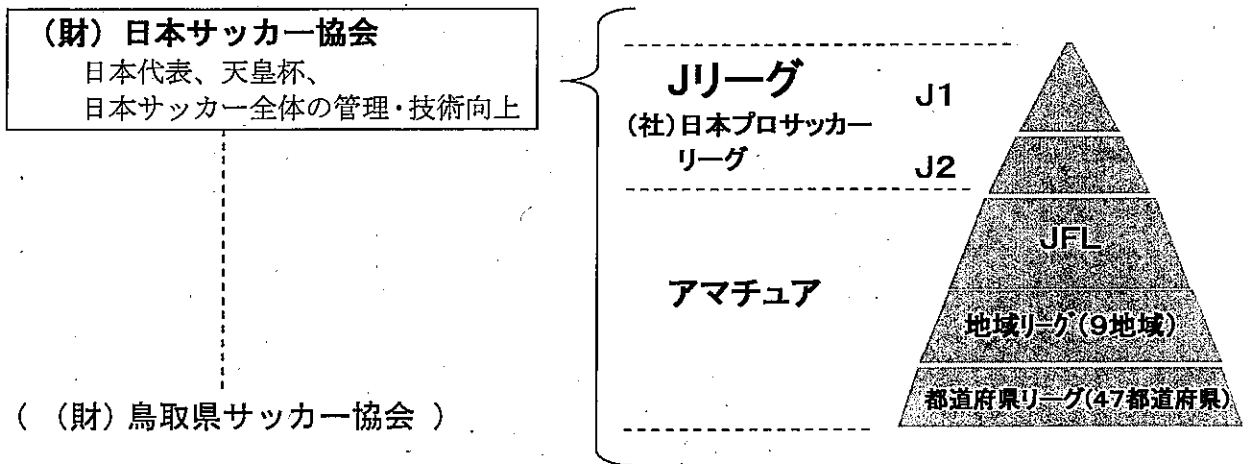
項 目	内 容
スタジアムの安全性	○スタジアム内外にいる観客との連絡に対応できる大型映像装置の設置。
スタジアムの屋根	○出来るだけ多くの観客席を覆う屋根の設置。
トレーニング施設	○常時使用できる天然芝もしくは人工芝のピッチ 1 面、屋内トレーニング施設。 ○クラブハウス（メディカルルーム）
アカデミーのトレーニング施設	○常時使用できる天然芝、人工芝もしくはクレーのピッチ 1 面、屋内トレーニング施設。 ○更衣室（メディカルルーム）

\*アカデミー＝育成部門（ユース、ジュニアユース等）

### (ガイナレ鳥取と連携したサッカー振興等の要望活動について)

- 要望日 1 月 12 日 (水)
- 要望先 鳥取県知事及び鳥取市長 (知事への要望は副知事対応)
- 要望者 ガイナレ鳥取応援団長、鳥取県サッカー協会長、県内商工団体・観光連盟の長等
- 要望内容
  - ・とりぎんバードスタジアム及び地域のサッカー場の整備  
「ピッチ芝張替、観客席屋根設置、電光掲示盤設置、クラブハウス付きサッカー場（練習場）整備」
  - ・ガイナレ鳥取との連携による地域振興  
「地元県民の一層の盛り上げにつながる取組を展開、青少年健全育成や地域のイベント等の事業への参加を連携して取り組むこと。」
  - ・ガイナレ鳥取を活用した観光振興  
「県内観光地への誘導や宿泊者を増やすことにより観光振興に取り組むこと。」
- 主な発言
  - 副知事 ・バードスタジアム整備は資金面のクリア必要、鳥取市と相談する。
  - 鳥取市長 ・バードスタジアムの整備は多額の費用を要するため、県と相談しながら検討を進めたい。

●日本サッカーの体系的整理と公益的意義等



**世界のサッカー**

- 世界一の競技人口 2億5千万人
- ワールドカップは世界最大のスポーツ祭典

**国のスタンス**

- スポーツ振興法  
国、地方公共団体はプロスポーツ選手の高度な競技技術が競技水準向上、スポーツ普及に重要な役割を果たしていることにかんがみ、その活用に配慮 (H10 追加)
- スポーツ振興くじ (foto)  
所管：独立行政法人 日本スポーツ振興センター  
助成目的：スポーツの楽しめる環境整備、トップレベル選手の国際的競技力向上のための環境整備等



**Jリーグ・百年構想**

～ スポーツで、もっと、幸せな国へ ～

- 「観る」「する」「参加する(支える)」。スポーツを通して世代を超えたふれあいの和を広げる。
- あなたの町に、緑の芝生におおわれた広場やスポーツ施設をつくること。
- サッカーに限らず、あなたがやりたい競技を楽しめるスポーツクラブをつくること。



**ガイナレ鳥取の基本理念**

- 「ホームタウンに根ざし、ホームタウンと共に成長する」
  - ・ホームタウン活動(復活!公園遊び、社会貢献活動) = JFL時から展開
  - ・YAJINスタジアム

○ガイナレ鳥取に期待する効果

期待する効果	内 容
スポーツ文化の創造とサッカーの競技力向上	○見て楽しむ、参加して楽しむスポーツ文化の創造 ○地元Ｊリーグチーム（目標）があることによる競技力向上
県民の一体感の形成・全国への情報発信・イメージアップ	○ホームゲーム観戦、地域でのふれあい ○Ｊ２（全国）を舞台にリーグ戦を展開 ○全ゲームＴＶ放映（鳥取県のＰＲ）
経済波及効果	○経済波及効果推計 ５年間 ３４億４２百万円 （初年度：５９４百万円） ・鳥取県産業連関表に基づく推計（２０年度推計） ・初年度入場者数４千人、後年度１割ずつ増を想定  ○ユニホームスポンサーによる売上げ貢献 ○他のスポンサーによるイメージアップ（広告効果） ○ホームゲーム出店 １・１店 ○オフィシャル応援ツアー（近畿日本ツーリスト（株）） ○アウェイサポーター観戦（２２．３．１４ ５００人 松本山雅ＦＣ戦） ○ＳＣ鳥取による雇用者数４８人 うち地元雇用１６人（２２年度）

○ガイナレ鳥取のホームタウン活動

２０１０シーズンの実施状況

(08 シーズン/09 シーズン実施回数)

項 目	内 容
社会貢献活動	参加回数：７回 ○非行防止教室 ○e-taxでの納税PR ○鳥取市内小学校訪問 ○羽合消防署一日救急隊長 ○アクアスロン皆生大会（伴走ボランティア） ○第５回スペシャルオリンピックスィン大阪トーチラン（伴走ランナー） ○とっとりエコフェスタでのエコ活動PR (0回/5回)
復活！公園遊び	開催回数：５２回 参加人数：延べ１，９３１人 鳥取市内小学校・米子市内小学校・境港市内小学校・鳥取市内（弥生公園、大路川治水緑地、ゆうゆう健康館けたか、鳥取砂丘オアシス広場、コココーラウエストスポーツパーク）・米子市内（YMCA体育館、弓ヶ浜公園、ふれあいの里）・名和総合運動公園・犬山フィールドアスレチック、県立中央病院等 (61回/56回)
講演会講師（選手）	開催回数：３回 琴浦町、東部地区小学校、鳥取大学 (0回/2回)
介護予防体操指導	開催回数：３回 鳥取県、社会福祉法人（米子市）、鳥取市内公民館 (24回/14回)
お祭り参加	参加回数：１３回 第３３回鳥取市花のまつり・里久の里納涼祭・松保保育園夕涼み会・陸上自衛隊米子駐屯地納涼祭・県立総合療育センター納涼祭・第３７回米子がいな祭り・第４６回鳥取しゃんしゃん祭・第１２回大山まきば祭・第１１回とっとりきのご祭り・自衛隊米子駐屯地６０周年記念イベント・せいきょうまつり・県立皆成学園交流文化祭・第１１回鳥取お城まつり (5回/11回)
サマーキャンプ	開催回数：１回 鳥取砂丘キャンプ場 参加人数：１８名 (0回/1回)
サッカースクール	開催回数：２１回 参加人数：９９１人 倉吉市営体育センター・浜坂B&G海洋センター・若葉台多目的広場・ハワイ夢広場・赤崎中学校・安来ふれあい公園・とりぎんバードスタジアム・あやめ池体育館等 (4回/8回)

# ガイナレ鳥取との協働による鳥取県の発展

## ガイナレの基本理念

- 強小の精神
- ホームタウンに根ざし、共に成長



## 鳥取県の未来を切り開く方向性と合致

- 強小の精神＝小さいからこそ  
まとなり、大きな力を発揮
- 県民との協働による県政推進

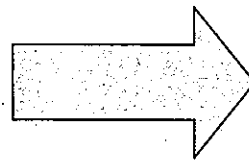
## ガイナレ鳥取

社会貢献活動、サッカースクール、  
お祭り参加等賑わいの演出等

+

## 鳥取県(ガイナレとの協働・活用)

ホームゲーム観戦県外客による  
観光振興、県施策推進にガイナレ  
の注目度活用等



## 県民に与える様々な効果

- 県民の誇りの醸成  
(元気、勇気、感動)
- 県民の一体感形成
- 賑わいの創出
- 全国への情報発信
- スポーツ文化の創造
- サッカーの競技力向上
- 青少年の健全育成
- 経済波及効果